

タイトル：「サーフィン」

【本文】

私は一年に二回くらい宜蘭へサーフィンに行きます。私が初めてサーフィンをしたのは25歳くらいの時です。師範大学時代のルームメートが連れて行ってくれました。初めてのサーフィンはまるで洗濯されているようでした。しかし、何回も練習したら、だんだん上手になって来ました。初めて波に乗った瞬間は今でもはっきり覚えています。今ではサーフィンは私の好きなスポーツの一つになりました。

【重要単語】

サーフィン	：衝浪
ルームメート	：室友
瞬間（しゅんかん）	：瞬間
今でも	：到現在還

洗濯　します	：洗衣服
--------	------

連れて行きます	：帶去
---------	-----

波に乗ります	：衝浪
--------	-----

はっきり　覚えています	：記得　很清楚
-------------	---------

【重要文法】

1. まるで洗濯されているようでした。

文法：まるで～（の） ようです。

意味：好像～一樣的

例① 彼女の日本語は まるで 日本人 のようです。

例② まるで 夢を見ている ようです。

2. だんだん上手になって来ました。

文法：て形＋来ました。

意味：越來越變得～

例① （さむい → さむくなります）

→ 最近、寒くなって 来ました。

例② （くらい → くらくなります）

→ だんだん 暗くなって 来ました。

【練習問題】

① 今天好像夏天一樣

→ 今日は 夏 の ようです。

② 小孩子的數量是越來越少了

→ 子供の数はだんだん少なくなって来ました。

③ 好像在日本一樣

→ まるで 日本にいる ようです。